

9月30日（水）～

教育長に北中生のすてきな姿を見ていただきました！



この日、瑞浪市教育長が来校され、瑞浪北中の生徒や職員の様子を確かめに来られました。約二カ月にも及ぶ休校があった上に、今でも感染症予防対策が取られている状況の中で、生徒や職員がどのように授業や生活に取り組んでいるかを見ていただきました。

授業では、落ち着いて学習や生活に取り組む生徒の様子に安心されたようでした。

中でも、1年B組の理科の授業では、「ノータッチ（接触なし）、ノーチャット（おしゃべりなし）」を心がけ、生徒一人一人が無言でそれぞれの実験に取り組む様子に参観者は興味津々。「一人一人のやることが明確になっている」「黙々と取り組む姿が素晴らしい」などと評価していただきました。



また、2年A組の音楽の授業では、琴の演奏に取り組む生徒たちの姿を見ていただきました。琴はグループに一面ずつしかありません。演奏できるのは一人です。琴に順番に触れながら、生徒たちは番が回ってくるのを待っています。しかし、待っている生徒も授業に参加します。弾く弦の番号を待っている生徒が声を揃えて唱え

るのです。関わり合いながら学習を進める生徒たちの姿にほのぼのとした雰囲気を感じました。

来校された方々は、二年目の北中学校の生徒たちの真剣で楽しそうな様子に安心されたようでした。

